

名張市立病院だより

きらり

No.31

発行/名張市立病院
〒518-0481
三重県名張市百合が丘西1-178
☎0595-61-1100(代表)
FAX 0595-64-7999
✉hp-somu@city.nabari.mie.jp
名張市立病院 検索



災害拠点病院実働訓練を実施

今年度も昨年度に引き続き、「災害拠点病院実働訓練」を11月8日(日)に実施しました。今回の訓練は、病院正面玄関前に院外治療エリアを設置して、受入訓練など3つの訓練を行いました。院長をはじめ医師、看護師、病院職員など90人が参加し、本番さながらに緊迫した雰囲気の中での実働訓練となりました。

■「治療エリア」の設置・受入訓練

市内各救護所に搬送された被災者のうち重症者を優先で、病院正面玄関前にエアータントの治療エリアを設置して受入訓練を行いました。



治療エリアの運営はDMAT(※)2隊(医師1人、看護師1人、業務調整員1人の3人で1隊とする編成)のうちの1隊が中心となり、患者の症状により手術、透析、転院(3次医療機関・ドクターヘリなど)、入院、外来待機などに振り分け、それぞれの部門に引き継ぎを行いました。

■市内の避難所などへDMATの派遣・衛星電話による連携訓練

もう一隊のDMAT隊は、災害発生後すぐに市内の避難所などに出向き、情報収集活動を行い、その内容を衛星電話で市立病院に報告しました。また、名賀医師会と消防本部が合同で設置する応急救護所の運営に協力するとともに、重症患者の市立病院の受入れについて、応急救護所に派遣したDMATと市立病院との間で衛星電話による情報伝達を行いました。

■非常食の炊き出し訓練

災害時には多くの食糧を提供する必要があることから、栄養部門の職員(管理栄養士)などが備蓄食糧の炊き出し訓練を行いました。

実際に災害が起きたときに迅速かつ臨機応変に対応できるように、今後も引き続き訓練を行い市民の皆さんの安心・安全につなげていきたいと考えています。



災害派遣医療チーム DMAT



リハビリテーション室
こたけ けんじく
小竹 顕作

■業務調整員の立場から

私は平成27年5月に東京の災害医療センターで開催された日本DMAT隊員養成研修を受講し、業務調整員の資格を取得しました。

業務調整員とは、災害発生時にDMAT隊員が迅速かつ円滑に活動できるように、消防や警察などさまざまな

組織との必要な連絡、調整、情報収集を行います。DMATに関する通信、移動手段、医薬品、生活手段などを確保するといった重要な役割を担っています。

DMATは被災地の情勢に頼らない「自己完結型」が活動の基本です。それは、被災地にある人的・物資的資源は、全て被災者のために使用されなければならないからです。今後も「自己完結型チーム」を構築できるよう、業務調整員として日頃から必要技術の向上・物品の管理などを行ない、万全の準備を心掛けていきたいと思っています。

三重メディカルラリー 2015

名張チーム、総合力で優勝!



医師、看護師、救急救命士がチームとなって災害時の救急活動の技能を競う「第1回三重メディカルラリー2015」が11月14日(日)に津市で開催。県内で初開催となるメディカルラリーで、名張チームが見事優勝を果たしました。

この大会には、県内14病院と11消防署から合計15チーム90人が参加。名張チームは、谷崎 隆太郎医師、上垣内 隆文医師、仲里 小百合看護師、三木 千秋看護師、消防本部から大山 誠人救急救命士、西田 勝太救急救命士の6人が組んで「Team Shin ~心~」として出場しました。

妊婦が交通事故に遭い新生児が仮死状態で生まれたなど8つの災害現場が設定され、患者の状態に応じて治療の優先順位を決める「トリアージ」を行い、限られた時間内で治療方針の決定や処置などを行いました。

今回の経験を活かして実際の救急活動でも力を発揮できるように技能を高めていきます。



処置を行う名張チーム

(※) DMAT…医師、看護師、業務調整員(薬剤師などの技師、事務員など)で構成され、大規模災害や事故などにより多数の傷病者が発生した現場に迅速に駆けつけ、救急治療を行うための専門的な訓練を受けた災害派遣医療チームです。

新しい研修医から一言

ナースインタビュー



**摂食・嚥下障害看護認定
看護師 時枝 夏子**

「摂食・嚥下障害」

私は名張市立看護専門学校を卒業後、市立病院に勤務しています。病院で働いていると、多くの「食べることのできない」患者さんと出会います。

原因は脳卒中や加齢などさまざまですが、患者さんの「食べたい」という気持ちを支援したいと思いついて、摂食・嚥下障害看護認定看護師の資格を取得しました。

摂食・嚥下障害とは、「飲み込めない」「上手に食べられない」「むせる」といった症状をいいます。上手く飲み込むことができないと誤嚥し、肺炎になることもあります。

現在は、週1日は摂食・嚥下障害に関する専門的な看護をしています。患者さんに人生の最期まで口からものを食べていただけることを目指し、チームの皆と協力しながら、「美味しい」の笑顔を見ることが楽しみに頑張っています。

研修医 **中森 亮介**

救急医療の第一線で、さまざまな経験をさせていただいております。これから健康に対する啓発活動も含め地域の医療に貢献できるよう、初心を忘れずに日々努力して参ります。

研修医 **上垣内 佳代**

医師としてスタートしたばかりですが、1人でも多くの地域の皆様の健康を守ることができるよう、毎日勉強し頑張りたいと思います。名張の医療の発展に貢献できるように精進します。

研修医 **福井 里花**

優しい上級医の先生や医療スタッフの皆さんに囲まれ、毎日たくさんのことを学ばせていただいております。これからも一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひします。

研修医 **川崎 俊也**

医師を志した頃より地域医療に従事したいという思いがあり、少しでも地域の皆さまに寄り添える医療が出来たらと考えて日々精進しています。よろしくお願ひします。

外来診療担当表

平成27年12月1日現在

		月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科 ・ 循環器内科	第1診	伊藤	常岡	伊藤2・4週	常岡	●谷崎		●我山		伊藤	
	第2診	●片岡		●白木		●佐藤		●循環器内科医師		●御前	
	第3診	●篠原	上垣内	●竹村		我山		●上垣内		●加藤	
	第4診	●北村	谷崎	●循環器内科医師		志田1・3・5週 三重大第1内科2・4週				●原田	
	第5診	加藤		御前	御前					岡本紳也	
		原田(※1)		伊藤1・3・5週(※8)		片岡(※7)		篠原(※2)		我山(※2)	
						篠原(※3)				佐藤(※7)	
						堅村(※4)					
専門外来	腎臓内科							佐々木(※4)			
	神経内科			高橋1・3・5週(※9)							
	糖尿病外来									堀田(※1)	
	泌尿器外来	西川(※3)									
	呼吸器内科							田崎(※5)			
外科	第1診	●山村				●坪内		●福浦		●甲嶋	
	第2診	坪内		●山村		竹内		山村		福浦	
専門外来	乳腺外科			中村		中村		中村			
脳外科	第1診	井田		井田		小谷				●河合	
	第2診	●小谷		●小谷		●井田					
整形外科	第1診	●園田		●細井		●細井		●大井		●園田	
	第2診	大井		園田		大井		園田		細井	
	第3診										
小児科	第1診	●須藤博明	須藤博明 (予約外来)	●小林	岡本一章 (予防接種)	●須藤博明	須藤博明、藤井 (予防接種・健診)	●岡本一章	岡本一章	●小林	藤井 (予約外来)
	第2診	●須藤京子	須藤京子 (アレルギー予約外来)	須藤京子 (アレルギー予約外来)			須藤京子 (アレルギー予約外来)			●藤井	
	第3診			藤井			須藤博明 (乳児検診)				
専門外来	発達支援外来				小林(※6)			小林(※6)	小林(※6) (2・4週のみ)		
眼科	第1診	●子安		●子安	子安	●子安		●子安	子安	●生杉	生杉(予約のみ)

●…初診外来 (※1)診察室は外科3診 (※2)診察室は脳外科2診 (※3)診察室は小児科3診 (※4)診察室は内科5診 (※5)診察室は脳外科1診
(※6)診察室は救外小児科 (※7)診察室は整形外科3診 (※8)診察室は外科1診 (※9)診察室は内科1診

受付時間

<予約のない人> 受付時間 午前8時30分～午前11時30分

- 内科、循環器内科、内科系専門外来は、医師の紹介状をご持参ください。
- 各専門外来は、事前予約を必要とする完全予約制です。
- 小児科のみ木曜日午後1時30分～午後4時も受付しています。

<予約のある人> 午前8時から予約終了時刻まで

保険証などは

保険証・受給者証などは、月に1度窓口で確認させていただきます。また、変更・更新の際は必ずご提出ください。



パソコンからは…

名張市立病院

検索

<http://www.nabari-city-hospital.jp/>